

2018年7月30日

50名未満企業専門サービス 隠れ損失見える化サービス 提供開始

当法人は、支援の行き届いていない50名未満の中小企業に対して、知らぬ間に出している損失を明らかにするサービスを提供し始めました。

キーワード：

大企業との健康格差拡大、継続的利益と持続的利益のための企業基盤を提供

背景：

中小企業の社長は概ね「タフ」なので、社員の身心健康維持に親和性が低い。社員の健康不調が放置され、企業の利益が圧迫されている事実を知らされていない。雇用を作り出している社長自身が国の健康管理対象外（社会制度の矛盾）

隠れ損失見える化サービスの内容：

休職・離職による損失、採用への影響、社員への影響、生産性低下の実態、イライラ・寝不足などによるミス、健康リスクなどを個別調査、レポート作成、改善対策提案。

本サービスの特徴：

50名未満の中小企業限定、経営トップが関与する会社のみサービスを提供アンケート形式ではなくインタビュー形式により、隠れた損失を明らかにする

サービス採用企業の例：

事務職1名休職、交代要員採用不調で社員疲弊、時間外手当高騰・品質低下、440万円/半年損失営業部門にて健診再検放置3名、体調不良で顧客訪問激減、受注率4割減、失注額6,700万円/年人事部門にてメンタル不調者1名、仕事が集中し病欠による頻繁な業務停止、240万円/半年損失

こんな中小企業に人気です：

継続的利益と持続的成長を得たいと願い、損失回避を望み、社員を守りたいと願う社長。

費用概算：45名企業：2週間、税込13万円程度：個別見積もり

販売目標：2018年度、県内76社へサービス提供、2020年度には県内220社へ提供する。

【お問い合わせ先】

拠点設置先：〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 仙台北辰ビル

(社) ジョイントベンチャー実践支援機構 代表理事 高橋弘

電話番号：050-6865-3135 / 090-7525-5021 e-mail: hirotaka@omakasestresscheck.jp

どうぞ遠慮なくお問い合わせください。